

2023年12月25日 KSW-23-43-33

【鴨川シーワールド】2024年干支の生き物～海の辰(タツ)たち～を開催中 2024年1月30日(火)までトピカルアイランド内で干支「辰(タツ)」にちなんだ特別展を開催

https://www.kamogawa-seaworld.jp/event/event_info/10321/



トピカルアイランド内の特別展示会場



タツノオトシゴ

株式会社グランビスタ ホテル&リゾート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：須田貞則）の基幹施設である鴨川シーワールド（千葉県鴨川市、館長：勝俣浩）では、2024年1月30日(火)まで干支「辰(タツ)」にちなんだ特別展示「2024年干支の生き物～海の辰(タツ)たち～」をトピカルアイランド内特設会場にて開催中です。

展示生物は、来年の干支・辰(タツ)にちなむ名前がついた海の生き物で、魚とは思えない姿をしたタツノオトシゴをはじめ、英名に「Dragonet(竜の子)」がつくネズツポの仲間や、中国名で「龍」がつくイセエビの計5種35点です。海の「タツ」たちは、トピカルアイランド内の特設水槽で展示を行います。なぜ「タツ」にちなんだ名前が付けられたのか、生物を目の前に、その由来を思い浮かべながら、じっくりと観察してみたいはいかがでしょうか。

2024年干支展示の詳細は下記の通りです。

【展示概要】

タイトル：2024年 干支の生き物 ～海の辰(タツ)たち～

展示期間：2024年1月30日(火)まで

場 所：トピカルアイランド内「無限の海」前 特設会場

■ 展示動物について

① タツノオトシゴ

タツノオトシゴの仲間は、魚とは思えないその姿が、竜の子どもを連想させることが名前の由来とされます。

【和名】タツノオトシゴ

【英名】Crowned seahorse

【学名】*Hippocampus coronatus*

・北海道以南の日本各地の沿岸の浅い岩礁域にある藻場に多く生息し体長10cmほどになる。海藻などに尾部を巻き付けて体を支える、生きたプランクトンを好む。



タツノオトシゴ

② ネズッコの仲間

ネズッコの仲間は、「Dragonet」（竜の子）と言われる種類もあり、小さな竜を連想させることから、その名がつけられたとされています。

【和名】コウワンテグリ

【英名】Ocellated dragonet

【学名】*Neosynchiropus ocellatus*

・南日本太平洋側、インド洋、西太平洋の浅い岩礁域やサンゴ礁域に生息し体長8cmほどになる。海底にすることが多く下に突き出した口で小さなプランクトンを食べる。



コウワンテグリ

【和名】スターリドラゴネット

【英名】Starry dragonet

【学名】*Synchiropus stellatus*

・インド洋、東南アジアの浅いサンゴ礁域に生息し体長は7.5cmほどになる。海底にすることが多く下に突き出した口で小さなプランクトンを食べる。



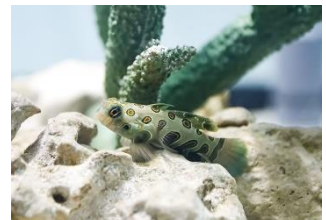
スターリドラゴネット

【和名】ブルースポットッドマンダリンフィッシュ

【英名】Picturesque dragonet

【学名】*Synchiropus picturatus*

・西部太平洋、インド洋のサンゴ礁域に生息し体長9cmほどになる。緑色の体色には目玉のような目立つ模様があり、枝サンゴの間などで見られる。



ブルースポットッドマンダリンフィッシュ

③ イセエビ

イセエビの仲間は、中国語で「龍蝦」といいます。長い触角が龍のヒゲを思わせることからつけられたとされています。

【和名】イセエビ

【英名】Japanese spiny lobster

【学名】*Panulirus japonicus*

・房総半島以南、台湾までの外海に面した岩礁域で多く見られ体長は30cmまれに40cmに近いものもいる。昼間は岩陰などに隠れ、夜になると活発に活動しエサを探す。近年は海水温度上昇の影響か房総半島よりも北の地域でも漁獲される。



イセエビ

※生体の状態により展示を中止する場合がございます。ご了承ください。